

「今週の一枚」



ハス (*Nelumbo nucifera*) ハス科

ハスの花は花弁と萼（がく）が分化していない（中央のつぼみ）、雄しべ（右下の花の黄色いひも）が不特定多数あるなど古い形質を持った花です。花托という部分が肥厚して「ハス状果」という独特の実をつけます。レンコン（蓮根）もうまいですが、ハスの実（種子）もなかなかいけます。化石の産出状況から、かつて日本に自生していたことは確実ですが、今見られるハスは氷河期にいったん絶滅した後、中国から持ち込まれたものとされています。高知県南国市の石土池にて撮影。

（No. 104 2004.9.30 掲載）